

奥州・北上・金ヶ崎・西和賀 定住自立圏

(愛称：日高見の国定住自立圏)

共同中心市宣言書



平成27年7月29日

奥 州 市

北 上 市

目 次

共同中心市宣言

- 1 都市機能の集積状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- 2 都市機能の利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- 3 圏域で連携が想定される取組・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 4 中心市への通勤通学割合が0.1以上である自治体・・・・・・・・ P 7
- 5 中心市と連携する意思を有する自治体・・・・・・・・ P 8

奥州・北上・金ケ崎・西和賀 定住自立圏
(愛称：日高見の国定住自立圏)

共同中心市宣言

奥州市、北上市、金ケ崎町及び西和賀町で構成する当圏域は、岩手県南中央部に位置し、北上川とその支流である和賀川、胆沢川の流域は、東に北上高地、西に奥羽山脈が連なり、かつては日高見の国といわれ、水陸万頃、水と緑に恵まれた肥沃な大地である。

日高見の国とは、平安時代初期の北上川流域一帯を示し、単一の国というより部族連合とされている場合が多い。その総大将がいわゆる阿弖流為（あてりい）であり、数多くの伝説が残されている。

また、圏域を構成する2市2町は、黄金の道とも称された秀衡街道により古くから結ばれ、現在も、国道4号、JR東北本線、国道107号、JR北上線などの広域交通体系に恵まれ、生活圏、経済圏を共有する結びつきの強い地域となっている。

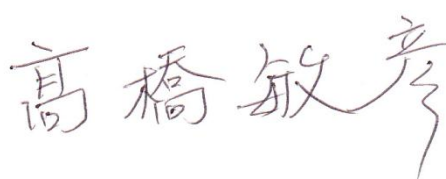
今後、本格的な人口減少時代を迎えようとしている中、高等教育機能が充実し、雇用の需要が大きい首都圏を中心とする大都市への若者の社会的移動もますます大きくなり、地方圏の疲弊に一層拍車がかかるものと多くの識者が警鐘を鳴らしている。

このような中、我々地方自治体は、人の流れの大転換を図っていく必要がある。そのためには、個性を活かし、魅力ある地方を創出し、新しいライフスタイルの提供や地域経済の活性化を図る、そのようなまちづくりに共同して取り組んでいく必要がある。

日高見の国といわれた当地域において、奥州市と北上市は、定住自立圏構想に基づく「中心市」として、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を担い、共に圏域を構成する金ケ崎町と西和賀町は、必要な生活機能を確保しつつ農林産業の振興や豊かな自然環境の保全を図るなど、相互の自主性と自立性を尊重しながら圏域全体の活性化をめざし、魅力ある圏域づくりに連携して取り組んでいくことを、ここに宣言する。

平成27年7月29日

奥州市長 

北上市長 

1 都市機能の集積状況

奥州市及び北上市における医療、教育・文化、その他行政及び民間分野における主な都市機能の集積状況は次のとおりです。

分野	都市機能	奥州市	北上市
医療	公的医療機関	県立胆沢病院 県立江刺病院 奥州市総合水沢病院 奥州市まごころ病院	県立中部病院 北上済生会病院
	初期救急医療機関	(休日当番医制により実施)	(在宅当番医制により実施)
	二次救急医療機関	(病院群輪番制により実施)	(病院群輪番制により実施)
教育・文化	大学(関係機関)	岩手大学工学部附属鍛造技術研究センター ほか	岩手大学工学部附属金型技術研究センター
	高等学校	県立水沢高等学校ほか7校	県立黒沢尻北高等学校ほか3校
	小・中学校	小学校27校、中学校12校	小学校17校、中学校9校
	幼稚園	19園	10園
	文化会館	Zホール ほか	さくらホール
	体育施設	水沢公園陸上競技場 奥州市総合体育館 ほか	北上陸上競技場 北上総合体育館 ほか
	図書館	水沢図書館 江刺図書館 前沢図書館 胆沢図書館 ほか	中央図書館 江釣子図書館 和賀図書館
	都市公園	水沢公園 江刺カルチャパーク ほか	展勝地公園 和賀川ふれあい広場 ほか
福祉	特別養護老人ホーム	18施設	5施設
	介護老人保健施設	5施設	4施設
	介護療養医療施設	1施設	2施設
	居宅介護支援事業者	45事業者	20事業者
	訪問介護事業者	21事業者	19事業者
	障がい者グループホーム	36事業所	11事業所
	就労継続支援B型事業所	11事業所	7事業所
	児童福祉施設	保育所26 認定こども園7	保育所17 認定こども園2
交通	鉄道駅	水沢江刺駅、水沢駅、陸中折居駅 前沢駅	北上駅、村崎野駅、柳原駅、江釣子駅、藤根駅、 立川目駅、横川目駅、岩沢駅、和賀仙人駅
	路線バス	岩手県交通 奥州市営バス 東磐交通 奥州市コミュニティバス	岩手県交通 北上市コミュニティバス
	国道	4号、107号、343号、397号、456号	4号、107号、456号
	高速道路IC	水沢IC 平泉前沢IC	北上江釣子IC 北上金ヶ崎IC 北上西IC
商業	大規模小売店 (3,000㎡以上)	16施設	13施設
行政機関	国の機関	水沢公共職業安定所 水沢税務署 盛岡地方方法務局水沢支局 水沢区検察庁 岩手河川国道事務所水沢出張所 ほか	北上公共職業安定所 岩手南部森林管理署 東北農政局和賀中部農業水利事務所 自衛隊岩手地方協力本部北上地域事務所 ほか
	県の機関	県南広域振興局 県南家畜保健衛生所 県立緑化センター 水沢警察署 江刺警察署 ほか	企業局県南施設管理所 下水道公社県南支社 いわてデジタルエンジニア育成センター 生物学研究所 北上警察署 ほか

2 都市機能の利用状況

次のとおり、通勤・通学、医療、商業など、日常生活において、奥州市及び北上市に集積されている都市機能が、周辺にある市町の住民に利用されています。

(1) 通勤・通学者の状況

奥州市及び北上市へは、近隣市町から多くの通勤・通学者があり、産業と教育の中心的な役割を果たしています。

① 近隣市町から奥州市への通勤・通学者

市町名	通勤者数	通学者数	通勤・通学者合計
北上市	1,725	101	1,826
金ヶ崎町	1,756	227	1,983
西和賀町	9	2	11
合計	3,490	330	3,820

(出典：平成22年国勢調査)

② 近隣市町から北上市への通勤・通学者

市町名	通勤者数	通学者数	通勤・通学者合計
奥州市	2,894	242	3,136
金ヶ崎町	1,224	116	1,340
西和賀町	227	34	261
合計	4,345	392	4,737

(出典：平成22年国勢調査)



(2) 医療機関の利用状況

奥州市及び北上市に立地する病院は、広く近隣市町の住民に利用されており、医療の中心的な役割を果たしています。

① 胆沢地区病院群輪番制の実績

市町名	来院方法		計
	救急車	その他	
金ヶ崎町	106	137	243
西和賀町	0	1	1
合計	106	138	244

(資料：奥州市（平成25年度実績）)

② 岩手中部地区病院群輪番制の実績

市町名	来院方法		計
	救急車	その他	
金ヶ崎町	17	100	117
西和賀町	14	21	35
合計	31	121	152

(資料：北上市（平成25年度実績）)

※ 病院群輪番制とは、地域内の病院群が共同連帯して、輪番制方式により休日・夜間等における重症救急患者の診療を受け入れる体制のことをいいます



(3) 商業機能の利用状況

奥州市及び北上市には、大規模小売店などの商業施設が多く立地しており、広く近隣市町の住民に利用されており、商業の中心的な役割を果たしています。

近隣市町からの奥州市、北上市への消費者購買実態（品目総合）

市町名	地元購買率	流出率		
		奥州市	北上市	その他
奥州市	91.2%		3.8%	5.0%
北上市	93.8%	0.4%		5.8%
金ヶ崎町	69.8%	18.3%	9.8%	2.1%
西和賀町	57.7%	-	12.4%	29.9%

(資料：平成20年度岩手県広域消費購買動向調査結果報告書)



3 圏域で連携が想定される取組

奥州市と北上市が共同中心市として、圏域に居住する住民の生活機能を確保し、圏域の活性化を図っていくため、周辺自治体と連携することを想定している取組は次のとおりです。

なお、取組の詳細は、連携する意思を有する自治体との協議を経て決定します。

(1) 生活機能の強化

① 医療

- ・ 医療ネットワーク、サービスの充実を図る。

② 福祉

- ・ 子育て支援サービスの向上を図る。
- ・ 障害者福祉サービスの向上を図る。
- ・ 介護人材の確保を図る。

③ 教育

- ・ 各自治体を実施する生涯学習講座などの開催情報を共有し、相互に利用できる体制を構築する。

④ 産業振興

- ・ 相互に連携し、産業の活性化を図る。
- ・ 観光情報を共有し、観光資源を活かした広域観光を推進する。
- ・ 農産物をはじめとした圏域の特産品に関する情報を共有し、6次産業化への支援のほか、相互連携による販路拡大を図る。

⑤ 防災・消防

- ・ 防災、消防体制の連携、協力を推進する。

⑥ その他

- ・ ごみ処理体制の連携、協力を推進する。
- ・ 消費生活の安定及び向上を図る。
- ・ 行政区域を跨ぐ悪臭などの苦情について相互に連携し解決を図る。

(2) 結びつきやネットワークの強化

① 地域公共交通

- ・ 路線バスなど地域公共交通の維持、確保を図る。

② 道路等の交通インフラの整備

- ・ 国道、県道の整備促進に向けた要望活動を連携して行うなど、圏域全体の道路環境の向上を図る。

③ 公共施設相互利用

- ・ 各自治体が保有する公共施設の相互利用の推進を図る。

④ 地域内外の住民との交流促進

- ・ イベント情報を相互に共有、参加することにより、住民の交流促進と圏域に活性化を図る。
- ・ 移住、定住を促進するため、情報共有を共有し、情報発信力の強化を図る。
- ・ 国際化に対応するため、多言語化表示の統一化など、多文化共生の取組を推進する。

(3) 圏域マネジメント能力の強化

① 人材育成

- ・ 合同研修の開催など、効率的な研修を実施するとともに、職員間のネットワークを構築し、圏域全体のマネジメント能力の強化を図る。
- ・ 行政事務遂行上の諸課題を共有し、連携して事務処理を行うなど効率的な事務を遂行する。
- ・ 圏域の抱える課題解決に向け、専門的知識を有する外部人材を招へいする。

4 中心市への通勤通学割合が0.1以上である自治体

奥州市及び北上市に通勤・通学する者の割合が0.1以上である自治体は次のとおりです。

(1) 奥州市への通勤通学割合が0.1以上である自治体

自治体名	常住する就業者数及び通学者数 [A] (人)	奥州市への通勤・通学者数 [B] (人)	通勤通学割合 [B/A]
金ヶ崎町	7,449	1,983	26.6%
平泉町	3,615	613	17.0%

(出典：平成22年国勢調査)

(2) 北上市への通勤通学割合が0.1以上である自治体

自治体名	常住する就業者数及び通学者数 [A] (人)	北上市への通勤・通学者数 [B] (人)	通勤通学割合 [B/A]
花巻市	45,748	5,982	13.1%
金ヶ崎町	7,449	1,340	18.0%
西和賀町	2,446	261	10.7%

(出典：平成22年国勢調査)

※ 常住する就業者は自宅従業者を除く



5 中心市と連携する意思を有する自治体

中心市宣言の時点において、中心市（奥州市及び北上市）と連携する意思を有する自治体は次のとおりです。

金ヶ崎町 西和賀町

〔参考〕中心市及び連携する意思を有する自治体の人口推移

市町村名	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	増減（平成 7－22 年）	
					増減	増減率
奥州市	133,228	133,056	130,171	124,746	▲8,482	▲6.4%
北上市	87,969	91,501	94,321	93,138	5,169	5.9%
金ヶ崎町	15,923	16,383	16,396	16,325	402	2.5%
西和賀町	8,594	7,983	7,375	6,602	▲1,992	▲23.2%
合計	245,714	248,923	248,263	240,811	▲4,903	▲2.0%

（出典：平成22年国勢調査）

※ 奥州市の平成 7 年、12 年、17 年の数値は、水沢市、江刺市、前沢町、胆沢町、衣川村の合計

※ 西和賀町の平成 7 年、12 年、17 年の数値は、湯田町、沢内村の合計